



# 日高 SSH news

【 第 2 号 】

<http://www.hidaka-h.wakayama-c.ed.jp/hidaka-ssh/>

日高SSHニュースは本校SSHホームページに掲載しております

## 5月25日(水) 高校 総合科学科1年生 チュラルサイエンスⅠ(生物) 特別講義「天神崎の自然とナショナル・トラスト運動」

講師：丸村 眞弘 先生

(公益財団法人 天神崎の自然を大切にす会 理事)

5月25日(水)、高校総合科学科1年生のナチュラルサイエンスⅠ(生物)の授業において、公益財団法人「天神崎の自然を大切にす会」理事の丸村眞弘先生をお迎えし、特別講義を実施しました。

天神崎の自然を大切にす会は、天神崎(田辺市)の海岸林に別荘が建設される計画が明らかになった1974年(昭和49年)に設立されました。その後、天神崎の自然を守るために市民に募金を呼びかけ、別荘建設が予定されていた土地を買い取った「市民地主運動」は、ナショナルトラスト運動の日本における最初の例の一つとなったことで有名です。

丸村先生には、同じ田辺湾内の京都大学瀬戸臨海実験所(白浜町)で毎年実施しているSSH校外研修で、昨年も講師としてお世話になりました。今回は6月に予定されている研修の事前学習ということで、本校での講義をお願いしました。

講義は、田辺湾の特徴や環境保全活動の歴史についての説明をしていただきました。暖流である黒潮の影響を受ける田辺湾は豊かな自然に恵まれ、岩礁や海岸林には亜熱帯・熱帯系の生物が数多く生息しています。また、平らで広い岩礁は安全で、なおかつ短時間で多くの生物に触れることができ、自然観察学習を行うのに最適な環境なのだそうです。

丸村先生は、湾内に生息する様々な動植物をスライドを使って紹介しながら、観察をするときのポイントや注意点などについても詳しくいねいに説明してくださいました。生徒たちにとっても、実習に臨むための有意義な機会となりました。

なお、京都大学瀬戸臨海実験所研修の報告については、日高SSHニュースの第3号でお知らせします。



丸村先生の講義の様子

## 5月25日(水)・26日(木) 附属中学校 1年生 校外研修「ナビゲイト日高」について報告

附属中学校1年生40名による宿泊体験学習「ナビゲイト日高」が5月25日(水)～26日(木)にかけて実施されました。この校外研修は、学校内では体験できない実験や観察学習を通して、理科学習への興味・関心を高めることを目的として毎年実施しています。事前にグループでテーマ別の調べ学習と学習発表会を行ったうえで、今回の体験学習に臨みました。

1日目は、和歌山県教育センター学びの丘(田辺市)で、備長炭電池の実験や光学顕微鏡・電子顕微鏡を使った観察、地層の観察などを行いました。また、南方熊楠記念館(白浜町)館長の谷脇幹雄氏、串本町教育旅行誘致協議会副会長で串本海中公園元館長の宇井晋介氏、環境社会教育機構の須藤英司氏にそれぞれ講演をしていただきました。

2日目は、近畿大学水産研究所大島実験所(串本町)での研修を実施しました。天気が心配されていたクロマグロの養殖施設の見学も無事に乗船することができ、予定どおりに行うことができました。また、串本海中公園付近の海岸において自然観察学習も実施しました。

2日間を通して行われた研修では、生徒たちは積極的に質問をしたりメモをとるなど、とても熱心に学習に取り組みました。たいへん内容の濃い研修で、生徒たちにとっても理科に対する興味・関心を高めるための良い機会となりました。今後は学習成果をまとめ、9月に本校で開催される文化祭で展示・発表を行う予定です。



ナビゲイト日高(2日目)  
クロマグロ養殖場の見学



ナビゲイト日高(2日目)  
磯での観察の様子



ナビゲイト日高(1日目)  
地層の観察の様子

### ☆☆ SSH関係 今後のおもな予定 ☆☆

6月2日(木)・8日(水) NSⅠ 校外研修「京都大学瀬戸臨海実験所研修」

… 高校総合科学科1年生(5組:2日、6組:8日)

6月9日(木)・10日(金) 生物基礎 校外研修「名田海岸・日高川河口干潟研修」

… 高校普通科1年生(1・2組:9日、3・4組:10日)

7月10日(日) 物理チャレンジ [会場:日高高校]

7月17日(日) 生物オリンピック [会場:日高高校]

8月10日(水)・11日(木) SSH生徒研究発表会 [会場:神戸国際展示場]